



NEWS RELEASE

糸賀一雄生誕100年記念事業 報道資料

Vol.12 2014年3月14日発行

1/5 ページ

糸賀一雄生誕100年記念式典 開催1週間前を控え

「ほほえむちから」の報道向け公開ワークショップを開催

～ゲストミュージシャン・坂田明さんへの取材会見も開催します～

糸賀一雄生誕 100 年記念事業実行委員会では、本事業のフィナーレとなる記念式典の開催まで1週間前に控えた3月21日(金)と22日(土)に行われる、第1部「ほほえむちから」のリハーサル及びワークショップを、報道向けに公開します。

今回の記念式典第1部「県民参加パフォーマンスライブ『ほほえむちから』」の見どころの一つは、さきらジュニアオーケストラと県内で活動する障害のあるパフォーマー、そして日本を代表するゲストミュージシャンらとの共演です。そこで、開催1週間前のワークショップを通じて、舞台裏でどのような交流が行われているかをご覧ください。と共に関心、福祉や医療の現場で、音楽を通じた交流を行ってきた子どもたちの声を、取材を通じてお聞きいただければと考えています。

なお22日(土)にはワークショップ後に坂田明さんの取材会見も開催、糸賀一雄生誕 100 年記念式典に向けての思いなど語っていただきます。ワークショップの日程など詳細は、次ページ以降の資料をご覧ください。

当日取材のお申込・お問合せ：

滋賀県社会福祉事業団 企画事業部 (担当：川那辺)

TEL: 0748-46-8100 (平日 10:00～17:00)

メール: kikaku@sisyazi.jp

※3月21・22日当日のご連絡先…担当:西川(090-3351-5418)



大津ワークショップグループ



湖南ワークショップグループ



さきらジュニアオーケストラ



坂田明

■ 報道向け公開ワークショップの日時・場所とプログラム

2014年3月21日(金) 13:00~18:00

栗東芸術文化会館さくら 練習室4

滋賀県栗東市緒2丁目1-28 (TEL: 077-551-1455)

参加者: さくらジュニアオーケストラ

演奏曲: 「雷鳴と稲妻」(ヨハン・シュトラウス2世)

「春の声」(ヨハン・シュトラウス2世)

「英雄」(ベートーベン)

「ほほえむちから」(作詞: 谷川俊太郎、作曲: 小室等、弦編曲: 井藤麻依子)

さくらジュニアオーケストラが、記念式典第1部全体のリハーサルを行います(谷川俊太郎氏と小室等氏による新作「ほほえむちから」のリハーサルは、17:00頃を目途に行います)。

2014年3月22日(土) 14:00~16:00 (坂田明氏の取材会見は16:00頃~)

コミュニティセンターひょうず

滋賀県野洲市六条1509-1 (TEL: 077-589-4010)

参加者: 大津ワークショップグループ(打楽器)

湖南ワークショップグループ(ダンス)

さくらジュニアオーケストラ

坂田明(サククス・クラリネット奏者)

演奏曲: 「雷鳴と稲妻」(ヨハン・シュトラウス2世)

「春の声」(ヨハン・シュトラウス2世)

大津・湖南2つのワークショップグループとさくらジュニアオーケストラ、そしてゲストミュージシャンとして登場する坂田明さん(サククス)によるワークショップを開催いたします。

■ 谷川俊太郎氏・小室等氏による新作「ほほえむちから」について

糸賀一雄生誕100年の時を刻むために、みんなで一緒に歌い、糸賀一雄氏の思想と実践を後世に伝えていくことを目的につくられた作品です。谷川俊太郎氏が書き下ろした詩に小室等氏が作曲し、記念式典第1部「県民参加パフォーマンスライブ『ほほえむちから』」のフィナーレで出演者と観客が一体となって発表します(3月21日(土)、さくらジュニアオーケストラがリハーサルを行います)。

ほほえむちから
谷川俊太郎

いまここにいきるわたしは
いのちのねっこでむすばれている
いまそこにいきるあなたと
わたしとあなた あなたとわたし
それぞれのなまえでよばれ
わたしはひとり あなたもひとり
でもホモサピエンス あいをはぐくむ

いまここにいきるわたしは
あなたがいないとききてゆけない
うまれたてのいのちのように
わたしはひかり あなたをてらす
それぞれのおいたちいきて
くるしむわたし くじけるあなた
でもほほえむちから こころにひめて

もどかしいからだ
とぎれることば でもいるだけで
いるだけで かがやくいのち

■ 「ほほえむちから」スペシャルセッションについて

打楽器の即興演奏・創作ダンスがさきらジュニアオーケストラの子どもたちの演奏と交差する。国内外の第一線で活躍する、フリージャズミュージシャン坂田明（Sax）も参加。ヨハン・シュトラウス2世のクラシックの名曲が、壮大なインプロビゼーションへと変貌するスペシャルセッション！下記2曲は3月22日（日）に公開ワークショップでリハーサルを行います。

「雷鳴と稲妻」（らいめいといなずま、Unter Donner und Blitz）

作品 324 ヨハン・シュトラウス 2 世

大津ワークショップグループ with 坂田明とさきらジュニアオーケストラが共演します。

さきらジュニアオーケストラの子どもたちが演奏するヨハン・シュトラウスのポルカ「雷鳴と稲妻」に大津ワークショップグループの打楽器即興演奏、そして坂田明のサクソ演奏が対峙して、壮大なインプロビゼーションを繰り広げます。

* 「雷鳴と稲妻」

シュトラウス 2 世は多くのポルカを作曲しているが、この作品は最もポピュラーなものの 1 つであり、ニューイヤー・コンサートなどでしばしば演奏されている。この作品は 1868 年に作曲され、もともとは「流星」というタイトルで着想されたが、それを変更して、同年の 2 月にウィーンの舞踏会で初演された時には現在のタイトルになった。打楽器群が活躍するこの作品は 3 部形式になっており、主部は遠雷を思わせる大太鼓のトレモロが響き、中間部のトリオでは稲妻と雷鳴がけたたましく交錯しながら主部に戻り、瞬く間に曲は終わる。大太鼓で雷鳴を、シンバルで稲妻（または電光）を思わせ、雷鳴と稲妻を巧みに模写している。スリリングな興奮を高めるが、不気味とか恐ろしいといった感じは全く無く、むしろ明快でユーモラスに感じられる。

「春の声」（はるのこえ、Frühlingsstimmen）

作品 410 ヨハン・シュトラウス 2 世

さきらジュニアオーケストラと湖南ダンスワークショップグループが共演します。

ウィナーワルツの代表曲[春の声]のワルツのリズムにのって、湖南ワークショップグループが独創的なダンスを繰り広げます。曲の後半には、湖東ワークショップグループの有志による、水笛とウィンドチャムの楽器隊が加わり、ウィナーワルツを華やかに彩ります。

■ 報道向け公開ワークショップ 参加者のプロフィール

大津ワークショップグループ（打楽器）

県内7つの地域で表現活動を行うワークショップグループが、糸賀一雄記念賞の受賞者をお祝いするため、2002年に始まった「糸賀一雄記念賞音楽祭」（2013年11月に第十二回を開催）。大津ワークショップグループはこれら7つの表現活動ワークショップグループの一つで、打楽器奏者の清水美紀氏がナビゲーターを務めています。



湖南ワークショップグループ（ダンス）

同じく糸賀一雄記念賞音楽祭の表現活動ワークショップグループの一つで、振付家・ダンサーの北村成美氏がナビゲーターを務めています。



さくらジュニアオーケストラ

さくらジュニアオーケストラは、2005年に栗東芸術文化会館さくらが開講した「さくらジュニアオーケストラ・アカデミー」を母体にして、2010年7月に結成された「我がまちのオーケストラ」です。小学生から大学生までの楽員・楽友が月3回の練習を重ね、音楽を通して人間的にも成長していく子どもたちとともに歩みます。すでに解釈の固まった聴き覚えの音楽を子どもの感性を生かした新鮮な演奏で再現します。

<http://www.sakira-joa.com/SakiraOrchestra.html>



坂田明（サクソフーン・クラリネット奏者）

1945年広島県呉市生まれ。広島大学水産産学部水産学科卒業。1969年上京、1972年から1980年まで山下洋輔トリオのメンバーとして活動。1981年からは様々なグループの結成、解体を繰り返しながら音楽シーンの最前線を走る。ミジンコ研究でも知られ、その集大成として2013年春に「私説ミジンコ大全」（晶文社）を刊行しました。



■ 糸賀一雄生誕 100 年記念式典第 1 部

「県民参加パフォーマンスライブ『ほほえむちから』」について

障害の有無、表現ジャンルを飛び越え、県内で表現活動を行っている出演者とゲストアーティストのパフォーマンスが交差し、創造的な舞台が展開されます。また、スペシャルプログラムとして本式典のために創られた新作「ほほえむちから」（作詞 谷川俊太郎 / 作曲 小室等）を出演者が発表。音楽を通じて、誰もがともにあり、それぞれの役割をもって自らを輝かせられる社会本来の在り方を発信することによって、糸賀一雄氏の生誕 100 年のこの時を県民の心に刻みます。

日 時：2014 年 3 月 29 日（土）14：30～16：30（13:30 開場）

場 所：栗東芸術文化会館さくら 大ホール（滋賀県栗東市糺 2 丁目 1-28）

参加費：一般 1,500 円、障害者・シルバー・学生 1,000 円、中高生 500 円
（全席自由席、小学生以下無料、シルバーは 65 歳以上）

問合せ：滋賀県社会福祉事業団 企画事業部

TEL：0748-46-8100（9:00～17:00 土・日曜・祝休）

詳細 URL：http://100.itogazaidan.jp/event/event_100

本リリースに関するお問合せ

滋賀県社会福祉事業団 企画事業部（担当：川那辺）

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2

TEL: 0748-46-8100（平日 10:00～17:00） FAX: 0748-46-8228 E-mail: kikaku@sisyazi.jp

※ 3 月 21・22 日当日のご連絡先…担当：西川（090-3351-5418）

※ 本リリース資料は、下記 WEB ページからダウンロードしていただくことができます。

http://100.itogazaidan.jp/wp-content/uploads/pr_press140314.zip